

学校法人 東京聖徳学園

# 聖徳フラッシュ



聖徳フラッシュ

## 第41号

平成21年4月1日

●発行●  
学校法人 東京聖徳学園  
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28  
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ  
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

### 主なトピックス

- 平成20年度 卒業式・卒園式
- 「聖徳の書道」に高い評価！  
第61回 千葉県小・中・高校書き初め展
- 教職大学院ニュース 第1回 教職大学院
- 「タコサラダ」で入賞!!  
～食べてほしい 松戸の食材～  
松戸産で作る「簡単料理」レシピコンテスト  
人間栄養学科
- 総合演習 幼児教育専門学校
- 15歳女性剣士世界挑戦  
聖徳大学附属高等学校 1年 木下 天さん  
附属中学校・高等学校
- 第23回 体育科実技発表会  
聖徳中学校・高等学校
- 児童の意欲を育む2つの造形展  
附属小学校
- 附属小学校体験見学会 附属幼稚園
- 平成21年度 春期公開講座のお申込みを受付中!

### INDEX

大学院・大学・短大	1
大学院・大学・短大	2~4
幼児教育専門学校	5
附属中・高	1-5
聖徳中・高	5
小学校	6
幼稚園	6~7
インフォメーション	8

### より豊かな未来に向け ISO認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。

国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

**ISO9001**  
(教育の質マネジメントシステム)

**ISO14001**  
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本誌に関するご意見、ご感想を下記サイトにて受け付けております。  
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>  
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

## 全国初の入試制度で、シドニー五輪代表が大学へ



初年度は本学人文学部人間栄養学科に、シドニーオリンピック女子10000Mにも出場し、社会人女子駅伝での活躍で知られる高橋千恵美さんが合格し、入学が決まりました。

大学・短期大学部では、平成二十一年度入試より、「ヘアスリット・セカンドキャリア支援」特別奨学推薦入試」を導入しました。

本入試は、財団法人日本オリンピック委員会(JOC)キャリアアカデミー事業の趣旨に賛同し、優秀な競技歴を有するスポーツ選手のセカンドキャリアをサポートするために設けた、全国で初めてとなる入学試験制度です。



平成二十年度の聖徳学園の卒業式・卒園式は、三月四日(水)の附属中学校・高等学校に始まり、附属聖徳中学校・聖徳高等学校(七日)、幼児教育専門学校(八日)、附属小学校(十一日)、大学・大学院(十二、十三日)、短期大学部(十四日)、三田幼稚園(十五日)、附属幼稚園(十六



日)、附属浦安幼稚園(十七日)、附属第二幼稚園、八王子中央幼稚園(十八日)、附属第三幼稚園、多摩中央幼稚園(十九日)と挙行されました。

大学・大学院の卒業式では、壇上から先生方に見送られ、涙をうかべながら退場する学生、また、附属中高の卒業式では礼法許状を受け取る生徒の姿が印象的でした。

卒業生・卒園生の合計は二千九百六十二名にのぼり、今年も社会に広がる卒業生の輪が一層大きくなりました。



聖徳大学、聖徳大学短期大学部、東京芸術大学、筑波大学、千葉県立保健医療大学、早稲田大学、立教大学、法政大学、フェリス学院大学、大妻女子大学、清泉女子大学、玉川大学、順天堂大学、目白大学、帝京平成大学、東京都市大学、白百合女子大学、中央学院大

# 合格

おめでとう  
ございます

本年度も、本学園の卒業生たちがそれぞれの学び舎で新しい生活をスタートさせています。聖徳大学・聖徳大学短期大学部・聖徳大学附属中学校・聖徳大学附属小学校をはじめ、多くの大学・高等学校・中学校・小学校へ進学しております。

主な進学先をご紹介します。

- 附属高等学校
  - 聖徳大学、聖徳大学短期大学部、聖徳大学幼児教育専門学校、東京芸術大学、千葉大学、筑波大学、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、明治大学、学習院大学、法政大学、津田塾大学、東京女子大学、日本女子大学、成蹊大学、成城大学、明治学院大学、日本大学(松戸歯学部)、薬学部、国立音楽大学、東京音楽大学、他
- 女子
  - 聖徳大学附属中学校、聖徳大学附属聖徳中学校、桜蔭中学校、渋谷教育学園幕張中学校、浦和明の星女子中学校、東邦大学付属東邦中学校、江戸川学園取手中中学校、大妻中学校、頌栄女子学院中学校、東京女子館中学校、他
- 男子
  - 早稲田中学校、渋谷教育学園幕張中学校、聖光学院中学校、市川中学校、海城中学校、青山学院中等部、東邦大学付属東邦中学校、本郷中学校、江戸川学園取手中中学校、函館ラサール中学校、他
- 三田三園
  - 聖徳大学附属小学校、カリタス小学校、国立学園小学校、啓明学園初等学校、白百合学園小学校、菅生学園初等学校、聖ヨゼフ学園小学校、帝京大学小学校、東京女子館小学校、桐光学園小学校、弘前大学教育学部附属小学校、雙葉小学校、明星小学校、立教小学校、早稲田実業学校初等部、他
- 附属四園
  - 聖徳大学附属小学校、開智小学校、関西学院初等部、暁星国際小学校、国府台女子学院小学校、昭和学院小学校、千葉日本大学第一小学校、東洋英和女学院小学校、成田高等学校付属小学校、日出学園小学校、雙葉小学校、立教小学校、他

(三月二十六日現在、尚、誌面の都合上、一部のみご紹介となっております。詳しくは、お問い合わせください。)

## 「聖徳の書道」に高い評価！ 第61回 千葉県小・中・高校書き初め展



団体表彰で、聖徳大学附属高等学校が24回目の「千葉県知事賞」受賞

- 団体表彰
  - 「千葉県知事賞」聖徳大学附属高等学校
  - 「優秀賞」聖徳大学附属中学校
- 個人賞
  - 「千葉県美術会長賞」 高校3年 中川 愛弓 さん
  - 「書星会長賞」 中学3年 田山 由希子 さん



二月十五日(日)、千葉県立美術館講堂で「第六十一回 千葉県小・中・高校書き初め展」の授賞式が行われました。

本年度は県内小中高より十四万七千三百七十三点の出品があり、一月中旬に県内十七の各ブロックでの審査を経て、ブロック代表となった四百九十九名によって二月一日(日)に中央席書大会が千葉県運動場体育館で行われ、二月九日(月)の千葉日報紙上で特別賞七十三名の発表がありました。

千葉県内の書写書道教育関係者に「聖徳の書道」が高く評価され、輝かしい成績を収めることができました。

聖徳大学児童学研究所主催

第3回 子どもの発達シンポジウム



次山信男先生

二月二十八日(土)、学校法人東京聖徳学園創立七十五周年記念、聖徳大学児童学研究所主催「第三回子ども発達シンポジウム」が

聖徳大学川並香順記念講堂で開催されました。今回は、「子どもから大人へー子どもはいつから大人の世界に興味を持つかー」をテーマに、学童期の発達について教育学・栄養学・心理学・医学の四つの側面から、基調講演・シンポジウム講演形式で発表と質疑応答を行いました。

基調講演は、次山信男先生(東京聖徳大学名誉教授)より「子どものものの方・考え方」と題するお話をいただきました。シンポジウム講演は、中尾美美子先生(本学人文学部人間栄養学科教授)より「栄養士の見た子どもの成長と食育」、相良順子先生(本学児童学部児童学専攻教授)より「子どもの心の発達と見守る目」、松本祐二先生(松本小児科医院院長、島根県性教育連絡協議会長)より「学校医の見た子どもの変化と成長」と題するご発表をいただきました。

シンポジウムには、小・中学校や幼稚園の先生、保育士、教育関係者、看護師、市民の方など、様々なお立場の方々にご参加いただきました。終了後のアンケート調査によると、講演内容に満足したという感想が多数寄せられ、多くの方々のお力添えを賜りながら、児童学研究所をはじめとする本学の日頃の研究成果を地域社会、教育現場に還元することができました。

学内企業合同セミナー開催



キャリア支援室

二月十日(火)、学内企業合同セミナーが大学体育館で開催されました。当日は、この不況下でも新卒採用を積極的に実施する企業三十一社と四百名を超える聖徳大学・聖徳大学短期大学部(二・三年生)の学生で、会場は外の寒さを吹き飛ばす熱気に包まれました。

「子ども」と行動に移すための土台にして欲しい。また、このような厳しい環境に立ち向かおうとしている皆さんを、多くの教員と職員が支えています」と、温かい激励の言葉がありました。そして、大学教職員を代表して生涯学習課の別府チーフからのエールの後、キャリア支援室の菊入室長の号令により、「頑張るぞー!!」という学生たちの力強い言葉と共に合同セミナーに臨みました。

また、各企業ブースには、四年生(学部内定者)・二年生(短大部内定者)を配置。資料配布など、サポートをお願いしました。企業からは、内定者に対して「配慮の効く学生で大変助かった」などの言葉をいただきました。内定者自身からも「社会人になる意識が一層高まった」などの感想が聞かれ、本セミナーが幅広い役割を果たしていたことが確認できました。

さらに、体育館のセミナーと並行して別会場では、栄養士に特化したセミナーが実施され、栄養士職における本学卒業生の就職活動や職場の実体験に基づくお話

セミナーに先立ち行われた「出陣式」では、就職委員長、本学音楽学部教授の重嶋博先生から「この出陣式・セミナーを就職活動のスタートとして、今日から頑張



また、企業の説明を聞く真剣な眼差しやメモを取る姿がいたるところで見られ、「何事にも真摯な気持ちを持って真面目に取り組み」という本学学生の一歩の特長が表れていました。

また、企業の説明を聞く真剣な眼差しやメモを取る姿がいたるところで見られ、「何事にも真摯な気持ちを持って真面目に取り組み」という本学学生の一歩の特長が表れていました。

合格者数速報

公立小学校教諭	合計	138名
公立中学校教諭	合計	2名
公立養護教諭	合計	1名
公立幼稚園教諭	合計	10名
公立保育士	合計	133名

聖徳大学大学院 教職研究科

教職大学院 ニュース

第1回

今こそ、教育現場と密着して 教員の力量と見識を磨く

今年度から、本学の教職大学院がスタートしています。これからは、教職も大学院の時代です。平成二十年十一月に文部科学大臣から専門職大学院として、教職研究科教職実践専攻(定員三十名)の設置認可があり、平成二十一年四月からの学生受け入れに向けて準備を進めてきました。まだ、なじみの薄いこの教職研究科(教職大学院)を紹介いたします。

教育現場からも寄せられる熱い期待

ベテラン教員の大量退職を控え、各教育委員会および学校現場からは、高度な実践力・応用力を身に付けたプロの教員が求められています。本学では、最新の現場ニーズや研究の成果を学ぶことができ、実習校・園を舞台に、自らの教育研究課題に創意工夫を生かして挑戦できます。

幼稚園教員と小学校教員に特化

幼児に特化し、日本で唯一となる「幼児教育コース」と、児童に特化した「児童教育コース」の二コースを開設。保育・児童の幼児教育・初等教育分野で培ってきた創立以来の伝統を生かし、実践的かつ専門性の高い学習を提供します。

本教職研究科の教員スタッフ紹介(その1)

**教職研究科長 佐藤 三郎**  
現代教育の課題研究 学校教育総合実習  
1962年東京教育大学大学院教育学研究科教育学専攻(教育哲学専修)博士課程単位取得満期退学。筑波大学教授、同大学院教授を経て1997年4月より本学に着任。教育哲学会、日本デュイイ学会、日本教育学会会員。聖徳大学児童学部教授。

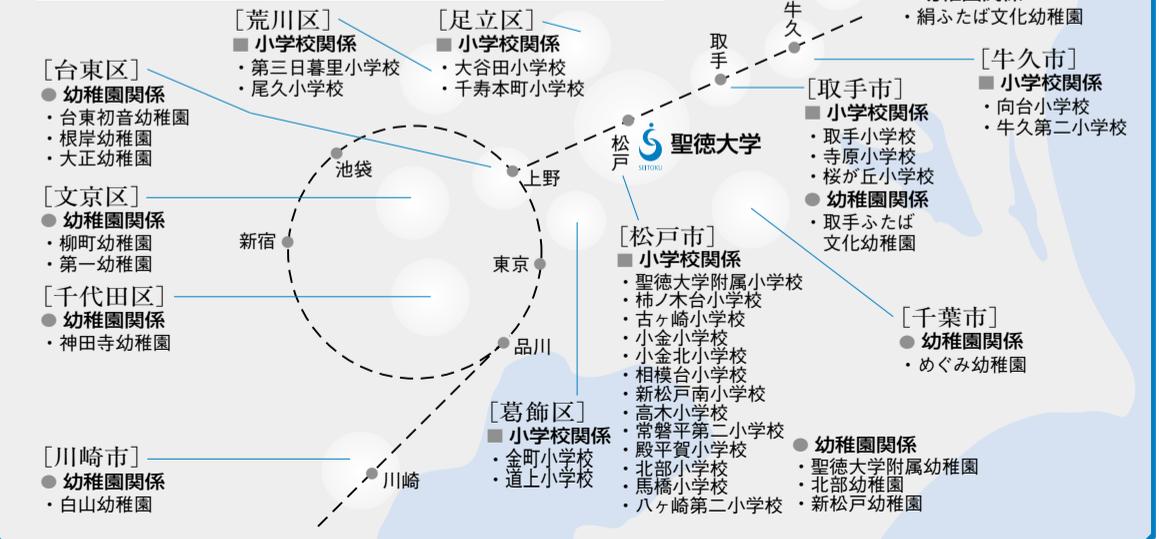
**教職研究科 幼児教育コース主任 塩 美佐枝**  
園経営事例研究 幼保小連携教育実践演習 小幼・小中連携演習  
2002年東洋大学大学院文学研究科博士前期課程修了、教育学修士。東京都公立幼稚園、東京都教育委員会などを経て、1998年4月より本学に着任。全国幼児教育研究協会理事長、文部科学省中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)などを歴任。聖徳大学児童学部教授。

**教職研究科 児童教育コース主任 西村 佐二**  
小学校教育課程事例研究 学校教育総合実習 学校経営・組織事例研究  
東京都教育庁指導部主任指導主事、東京都教育庁指導部初等教育課長、東京都目黒区立東山小学校校長、東京都目黒区立中目黒小学校校長を経て、2004年4月より本学に着任。全国連合小学校長会会長、同顧問、文部科学省小学校教員資格認定試験委員、全国小学校国語教育研究会会長、同顧問などを歴任。聖徳大学児童学部教授。

地域と連携し、学びます。

教職大学院の1つの特長として、「連携協力園・協力校」での実習が挙げられます。現場で抱えている諸問題を解決するために、即戦力として通用する優秀な教員を養成します。具体的には、園長・副園長、もしくは校長・副校長のリーダーシップを観察・体験し、幼稚園・学校経営者としての資質・能力を養います。協力園・協力校の輪は、大学院の所在地である千葉県松戸市はもちろんこと、東京都、茨城県、神奈川県にも広がっています。

連携いただいた実習校・園の一覧



# 卒業研究美術作品展

児童学科 社会福祉学科

二月二日(月)から五日(木)まで、本学児童学部児童学科および人文学部社会福祉学科四年生の卒業研究美術作品展が、大学八号館にて開催されました。作品数は、およそ八十点あり、絵画、写真、絵本、玩具、遊具、パネルシアター、研究論文などが展示されました。明日の保育現場に早速役立つ作品が集合しました。今回は二作品について、三人の学生に感想を伺いました。



作品名「開け!! ころのとびら」  
社会福祉学科 4年  
木内 明日香さん 越智 亜希子さん

## ●作品について

私たちは共に、社会福祉学科で養護教諭を目指して



作品名「だごだごころころ」  
児童学科 4年  
くしま 如迪さん

## ●作品について

私の作品は、富山県に古くから伝わる昔話が元になっています。母が保育士をしていたこともあり、子どもの頃よく昔話を話してもらったのが大好きでした。私も誰かに伝えたいという想いがあり、動く本を考案しました。

お話は元々ありましたが、

えない子どもにもわかるように、全ての台詞などに点字をつけました。

ストーリーを決めるのがとても難しく、そのために一度、「いじめ」についてのアンケートをゼミの後輩や友人にとりました。小中高での学校経験が反映された、そのアンケートの結果からストーリーを決めました。それでも、話の内容が膨らみすぎて、制作スケジュールが遅れてしまいました。最終的には二ヶ月くらいで制作しました。

## ●後輩に一言

木内さん ただ漠然と作品を作るだけでなく、今後、将来働いた時のことを思い描くと創造が具体的にになり、よいと思います。

越智さん 自分の将来の夢に沿った内容を作品にする、興味関心のあることを作品にするほうがよいと思います。

絵本はありません。一ページごとのイメージは自分で考え、組立てました。その場面に合った人形の表情を考えるのが難しく、実際に人形を作ると、思ったように鬼の表情が出なくて苦戦しました。

## ●後輩に一言

私は生地を選定するだけでも、多くの店に足を運びました。生地を決定するだけでも時間がかかります。制作は、早めに始めたほうがよいと思います。

二十一年度もまた同時期に開催しますので、どうぞご期待下さい。

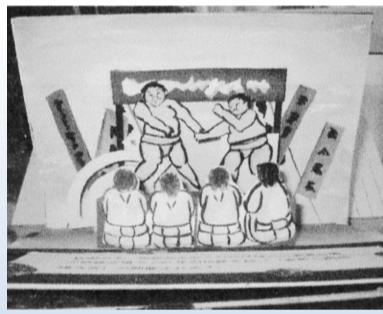
総合文化学科  
デザイン・インテリアアブリランチ  
ファッションブランチ

# 卒業制作発表会

二月十三日(金)、本学短期大学部総合文化学科デザイン・インテリアアブリランチ、ファッションブランチの合同卒業制作発表会が、大学七号館で開催されました。発表の作品はそれぞれ個性にあふれる力作揃いでした。今回は総合文化学科教授の杉本幸子先生が、各専攻から一点づつ取り上げて紹介します。



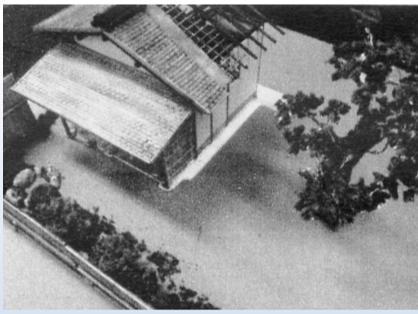
デザイン専攻 長谷川 舞さん



「柏の一年」  
しかけ絵本  
一月の新春風あげ大会に始まり、十二月の布施弁天の除夜の鐘まで...といづれも見事なしかけで紹介してありました。地元柏でぜひ展示してほしい作品です。  
(十月富勢八朔相撲大会)



インテリア専攻 松村 清美さん



「待庵」  
千利休の茶室  
茶室の待庵を研究テーマにした理由は、もともと茶室に興味があったことと、待庵が唯一現存する利休作の茶室であると伝えられていることでした。作品は茶道具の棚や明り通りの窓、庭木に至るまで、利休のこだわりが感じられる程の入念さで模型化され、国宝待庵の「わび」の佇まいを十分に表していました。

## カクテル・ドレス



ファッション専攻 三浦 朋子さん



ファッションブランチの卒業制作テーマは、フォーマルドレスでした。フォーマルドレスは、正式な会合で着用する服で、学生は毎年、帝国ホテルでの謝恩会で着ることを目的に制作します。素材は細かい花模様ピンクのポリエステルサテンでシンプルなデザインですが、若々しい美しさが溢れていました。正規の授業外で制作した作品ですが、これまでに学んだデザイン、技術が集大成された作品となりました。

## 海外研修報告



人文学部人間栄養学科 二年D組  
海老原 亜耶さん

# アメリカでの研修を終えて

二月七日(土)〜二月十七日(火)まで、世界をリードするアメリカを訪れ、栄養学の面はもちろん、国際的にも通用する知識を身につけるため、研修に参加しました。  
初めて訪れたアメリカでまず実感したこととして、気候の違いや食事の量、嗜好の違いがあります。特に食事の量は想像以上に多く、驚きました。  
本学と姉妹校であるミルズカレッジでは、豊富なメニューがビュッフェ方式で提供されており、メニューごとに使われている食材などが詳細に書かれており、提供されているメニューがどの食材で提供されたかがよくわかります。私は栄養管理された定食で提供した方がよいのではないかと疑問に思い質問したところ、人種や食習慣の違いがあるアメリカで定食を行おうとすると何十種類もの定食を用意するのはならないため、ビュッフェ方式でより良い栄養を摂れるよう一つ一つの食材にこだわっているとのことでした。

様々な人種や食習慣を持つアメリカで、食材情報は非常に重要であり、アメリカの栄養指導の特徴や日本との違いを実感しました。ユニバーサルスタジオの厨房見学では日本とアメリカの衛生面に対する



人間栄養学科

# 「タコカブサラダ」で入賞!! 食べてほしい松戸の食材



「食べてほしい松戸の食材」松戸産で作る・簡単料理レシピコンテスト」で、本学人間栄養学科三年・渡辺絵美さんの考案した「タコカブサラダ」が上位入賞を果たしました。

このコンテストは、ねぎ・かぶ・小松菜・ほうれん草・梨・白玉粉など、松戸特産の食材を使った簡単料理のアイデアを募る企画で食育に力を入れようと、松戸市が初めて開催しました。

昨年十二月に募集があり、学生だけでなくプロや主婦も含め、百二十六作品の応募がありました。書類選考による一次審査で十二作

品に絞られ、今年の二月十三日(金)に行われた二次審査では、会場で応募者が実際に愛情を込めた料理を作り、入賞者が決まりました。

渡辺さんは、男性でも簡単に十分程度で作ることができ、お酒のおつまみにもなる、健康的な「タコカブサラダ」を考案しました。

作品については、「このサラダは、男性や野菜の苦手なお子様でも食べることができ、タコと松戸の特産であるかぶを用いました。タコはコレステロールを下げる効果があり、ゴマ油が食欲をそそります。かわわれ大根がシャキッとした触感を生み、色合いもよくしています」と表現しています。



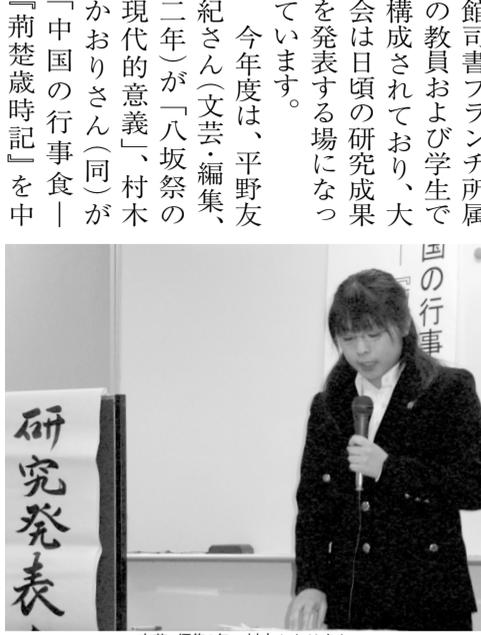
指導した人間栄養学科教授の桂きみよ先生は、「このコンテストは松戸の特産を使うという制約の中、とてもよい成果を出したと思います。また、一般の人と作品を比較することができ、刺激にもなります。本人も結果に納得するでしょう」と語っています。今後益々の活躍が期待されます。

総合文化学科

# 「短期大学部国語国文学会」 大会を開催しました!

平成二十一年二月五日(木)、大学一号館にて、本学短期大学部国語国文学会大会を開催しました。この学会は、短大部総合文化学科文芸・編集ブランチ、図書館司書ブランチ所属の教員および学生で構成されており、大会は日頃の研究成果を発表する場になっています。

今年度は、平野友紀さん(文芸・編集、二年)が「八坂祭の現代的意義」、村木かおりさん(同)が「中国の行事食―荊楚歳時記」を中



文芸・編集2年 村木かおりさん

心に―」について発表しました。平野さんは、八坂祭(市原市指定無形文化財)によつて牛久の町が一つになることに、祭りの現代的意義を見出し、村木さんは中

品の年中行事と結びついた食べ物の由来や意味を明らかにしました。

教員からは、本学人間栄養学科教授の長江曜子先生が「女性の墓碑銘について―都立多磨霊園を中心として―」、総合文化学科准教授の正道寺康子先生も「木の下の浮舟」について発表しまし



本学准教授 正道寺康子

た。長江先生は、多磨霊園の女性表現者の墓碑銘について、その特徴を示してくださいました。例えば、与謝野晶子は、夫婦で同じデザインと同じ大きさの夫婦墓に眠っています。お墓はその人の価値観や死生観を表しているのです。

今回は、お墓や祭りなど実際に調査したことを、パワーポイントで紹介する発表が二本あり、年々発表方法や内容も多様化しています。また、次年度からは、本学会を卒業生にも開放することにしました。これから教員・卒業生・学生の研究成果を示していきたいと思っています。

保育科

# 全教職員が学生をサポートします! 本学の学生支援の取り組みを報告

本学短期大学部保育科の「All For One」をめざす学生支援活動。全教職員による「インテーカーサポート」が、平成十九年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」(学生支援GP)に採択されました。この取り組みの特色は、全ての教職員が「インテーカー(最初の相談者)」となり、一人ひとりの学生に対応するところにあります。今回、活動の成果が二つの場で報告されました。

## 学生支援GPシンポジウム

二月十八日(水)、保育科主催の学生支援GPシンポジウム「短期大学における学生支援GPの実践と課題」が、大学十号館で開催されました。

シンポジウムのセッション



セッションIでは、本学の他に学生支援GPに採択された短期大学三校をお招きし、岡山短期大学「人命尊重マインド」を育てる学生支援、湘北短期大学「社会に出て役立つ人材を育成するために」、富山短期大学「地域をキャンパスとした人間力向上の取組」、そして本学は「All For One...その成果と発展」について保育科教授の岡田耕一先生より事例報告がありました。

参加者へのアンケートでは、本学でも採り入れたいという意見を多くいただきました。特に、全教職員が「インテーカー」であり、教員だけでなく、職員が関わっているということに他大学の方は興味を示しました。保育科の教員の細かい気配りが参加者の方にも伝わった実り多いシンポジウムでした。

## 学生支援GP意見交換会

三月三日(火)、東京ガーデンパレスにおいて、独立行政法人日本学生支援機構主催の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」



聖徳大学

「意見交換会が開催されました。

今回は、学生相談および健康・メンタルヘルス支援の取り組みについて、千葉大学、金沢大学、岐阜大学、そして本学より事例が発表されました。

本学は、保育科教授の野原八千代先生より、取り組みを進めるに至った背景、実施内容、得られた成果などが発表され、その後の意見交換では、組織体制や全教職員を対象としたインテーカー講習会への質問が多数寄せられ、関心の高さが窺えました。

音楽学部

# 聖徳大学 Organ Concert

三月三日(火)、ヤマハエレクトロニクス谷メインスタジオにおいて、電子オルガン専攻生によるコンサートが開催されました。この催しは大学院、大学附属高校、附属聖徳中学校の学生・生徒たち全員参加による恒例の

コンサートで、今年度で十四回目になります。和の精神のもと、中学生から大学院生がソロやアンサンブルを演奏すると同時に、司会進行・照明・音響なども役割分担するという、まさに手作りの演奏会です。演奏力の向上という技術面で得るものばかりでなく、普段は会うことのない先輩・後輩が一緒になってステージを創り上げていくなかで育っていく友情は、何事にも代えがたい大切なものとなっています。今回の曲目はミュージカル「オペラ座の怪人」メドレーから吹奏楽「エル・カミーノ・レアル」や

交響詩「フィンランディア」の編曲、また、ラテンの名曲「キエン・セラ」まで多岐の音楽ジャンルにわたり、聴衆を飽きさせない楽しいコンサートとなりました。

出演者たちも、高校大学の先生方・職員、そして卒業生など、来場してくださいました。

これからのこのよな経験をさらに飛んでいき、多に飛



躍してくれることを願ってやみません。

# 幼児教育専門学校

## 全国保育士養成協議会 関東ブロック第二十二回

### 学生研究発表会

二月二十日(金)、全国保育士養成協議会(高田馬場)において、第二十二回学生



研究発表会が実施されました。本校からは、昨年十二月のグループ研究発表会にて推薦された保育科第一、二年の保育問題グループが、「子育て支援の現状と今後の課題」をテーマとして、今年度の研究発表会に「子育て支援の現状と今後の課題」というタイトルで発表を行いました。

当日は、十時から十六時二十分まで、二十八校二百五十名の参加者で熱のこもった発表と質疑応答の充実した時間を共有することができました。

研究発表は二十校三十

四タイトルで、そのうちの十二タイトルが短大、専門学校の研究発表でした。

研究内容も多岐に渡っておりましたが、「子どもの発達」や「障害、特別支援」、「子育て支援」などについての発表が約六割を占めていました。

保育現場で子どもたちや保護者を支える大切な仕事に就くことになる若い学生によるエネルギー溢れる素敵な研究発表会でした。本校の五名の発表者も「子育て支援」の大切さをアピールすることが



でき、また、他校の皆さんとの研究発表から大いに学ぶことのできた良い機会となりました。

## 総合演習

一月三十一日(水)、一部二年生と二部三年生を対象に、聖徳大学短期大学部の保育科教授である高橋博子先生による総合演習が行われました。

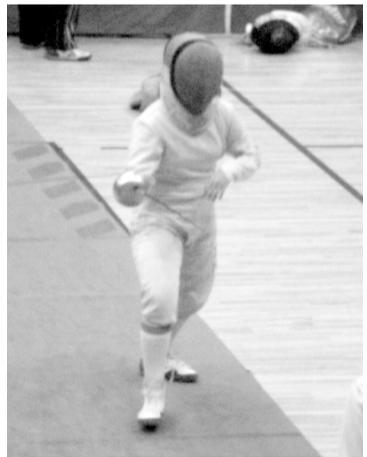


高橋先生の講義は、ご自身の体験にもとづくお話で、学生たちは皆、熱心に耳を傾けていました。学生の感想文では、「高橋先生の生き方は、本当に素晴らしいと感じました。人との出会い、生き物との出会い、音楽との出会いなど、いろいろな場面における様々な出会いに感謝しながら、私も、先生のように輝かしい人生を歩めるよう頑張りたいと思います」と感銘した様子が伝わってきました。

一月三十一日(土)は、二部三年生を対象に、本校の児童文化Ⅲを担当している三枝千代子先生によって「さくら紙を使って工夫してみよう」と題する総合演習が行われました。

# 附属中学校・高等学校

## 十五歳女性剣士世界挑戦



一月九日(金)〜十二日(月)に駒沢公園オリンピック公園体育館で、第十六回JOCジュニア・オリンピックカップフエンスング大会が行われました。木下選手はジュニア(U・20)の部・カデ(U・17)の部でフルレとエペに出場しました。この大会での上位入賞者は

日本代表として海外に派遣されることもあり、予選を勝ち抜いた選手が約百名集まり熱戦が繰り広げられました。エペでは、ジュニアの部で四位、カデの部で二位。フルレでは、ジュニアの部、カデの部で共にベスト三十二の成績を収め、この結果エペの日本代表選手に選出されました。一月二十八日(水)から二月四日(水)にスウェーデンで行われたジュニア男子エペワールドカップ、ジュニアの部・カデの部共に参加し、二勝四敗で予選敗退。二月十日(火)〜十八日(水)

にスロバキアで行われたカデ男女エペ欧州サーキットでは三勝三敗で予選通過しましたが、決勝トーナメント一回戦で敗退しました。海外では不本意な試合結果でしたが、木下さんは、「身長一メートル七十八センチの相手に日本人のタイミングでは剣が相手に届かない。身長差のある相手の戦い方が今後の課題です」と新たな目標を語ってくれました。三月には国立スポーツ科学センターで強化合宿を行い、四月二日(木)〜七日(火)まで英国ベルファスト市で行われる二〇〇九年ジュニア・カデ世界選手権に参加します。

# 聖徳中学校・高等学校

## 第二十三回

### 体育科実技発表会

体育科実技発表会を、二月七日(土)に本校第一体育室で開催しました。当日は、二百二十人を越える来賓・保護者・体育科卒業生が来校してくださいました。

発表会は、「新体操」から始まり、ロープ、フープ、ボール、クラブ、リボン、そして団体演技では、息の合ったロープの発表をいたしました。続いて、「陸上・駅伝」は、「位置について」「ヨーイ」「ドン」とスタートシーンから発表が始まり、走・跳・投種目の発表。リレー・駅伝では「心のバトン」の襷をつなぎました。次の「ダンス」は、創作ダンス「a cog」組織の中ちっぽけな歯車、ドリルダンス・リリカル「The Soft Goodbye」、創作ダンス「いつか…」を発表しました。



学年発表は、高校一年が「組体操」を行い、二人組・三人組五人組・大技を披露し、会場を魅了しました。組体操は、バランス感覚と一年生全員の和を大切にした、「心の技」の発表になりました。高校二年は、体育科の伝統となつてくる扇のダンス「四季」で、祭りから始まり、花・蝶・海・紅葉・落ち葉・雪・松などの日本の四季を扇で表現しました。高校三年の創作ダンス「COLORS」は、自分たちでデザインした衣装で、高校という名の真っ白なキャンバスに個性という色のハーモニーを描きました。プログラムの最後は、「グランドフィナーレ」をダンシングクイーン

の曲にあわせ、体育科生全員が一緒に踊り、会場全体が一つにまとまった発表会でした。



の曲にあわせ、体育科生全員が一緒に踊り、会場全体が一つにまとまった発表会でした。



### たのしかった たのしみまじョー

附属第三幼稚園

第三幼稚園「たのしみまじョー」が一月二十五日(日)に行われました。園児の保護者の他に、祖父母、兄弟姉妹の方々がショーを観たいと、限られた席いっぱいまで立ち見席ができるほどでした。来賓の方々の挨拶に始まり、全園児の歌「虹のむこうに」、「子どもの世界」を元気いっぱい笑顔で歌います。次に、園児たちの日頃の表現力、先生方の取り組みの成果をご覧いただきます。パンダ組絵本より「りんごがドスン」、年少組ウクライナ民謡「てぶくる」、年中組童話「長靴をはいた猫」、年長組アラビアンナイトの童話「アリバ



バと四十人のとうぞく」に挑戦しました。役柄は、自分の希望通りにならなかった園児も、それぞれの役を楽しみ嬉しさを体いっぱい表現していました。充実した演技をしながら自信が芽ばえ、一回り大きく成長したと思います。最後に来賓の方からの感想として、「きらびやかな衣装をまとい、園児がとても楽しく演じていたので思わず拍手をしてしまいました」など、高い評価をいただきました。園児たちは、お客様に見せる術を心得ているようで日頃よりほめるかに素晴らしい演技をしていました。一学年進級する園児たちのさらなる成長、飛躍を心から願わずにはられませんでした。

### 新入園児 たのしみまじョー

附属浦安幼稚園

肌寒い二月十三日(金)、二十一年度の未就園児・保護者を対象とした「新入園児たのしみまじョー」が催されました。期待に胸膨らませ、朝早くから来園してくる未就園児の元気な声が幼稚園玄関に響きました。受付後、五歳児が未就園児の手を引き「一緒にいこうね」と声を掛けたり、保護者の方には、「ホールは二階です」と張りきり案内している姿が見られました。

四月からの入園に備え、在園児の様子をみていただき、期待を持つというねらいの催しで、新入園児の八十九組(親子)が参加しました。会が始まり、園長先生が「嬉しい気持ちは拍手をしましょう。そして感謝の心を、ありがとうで言いましょ」とお話しされる



と緊張もほぐれ、親子で顔を見合わせ、うなずいていました。プログラムが始まり、四歳児のリズム遊び「びよんぴよんぱんのかばんです」では、未就園児もいつのまにか、舞台上で踊っている三歳児、桜組さんと一緒に首を振ったりなど舞台の上を見入っていました。四歳児のリズム遊び「そらいろのたね」は、大きな家がガタガタ触れる場面では「あ!!大変だ」と思わず口に出していました。五歳児の歌と合奏では、「すごい」と感嘆の声と拍手が上がり、在園児・年長児もお兄さんらしい姿で、より一層、歌声も高らかに歌いあげていました。

全部のプログラムが終わると在園児が手作りで作ったプレゼントと風船を手を持ち、「また来てくださいね」と手渡していた姿も微笑ましく、帰りは全園児が廊下で拍手で見送り、入園式に期待を持てれば幸いです。思った日でした。

### 春の遠足

八王子中央幼稚園

五月初旬の春の遠足では、府中市郷土の森に行きます。幼稚園に入園進級して初めての園外での行事です。例年桜組は保護者から離れることに少し不安気に登園する子どももいます。梅園・県木園などを見たり、春の草花を見たりと自然に触れる良い機会にもなっています。そして楽しみの一つでもあるお母様に作っていただいたお弁当を「残さず食べるんだ」、「おにぎりとおかずがあるよ」と皆でおいしくいただき、昼食後は広い園内で元気いっぱい走ったり、ゲームをしたりして各学年が自然の中で時間を過ごします。

郷土の森に着くと、目的の広場までは松組が桜組と手をつないで一緒に歩き、優しく声を掛けたり、誘導したりする頼もしい姿が見られます。また、公共の場でのマナーを守ることや進んで挨拶することなどの約束を守り、楽しく過ごそうと友達と互いに教え合う姿も見られます。園内散策では、昔の家・風車・梅園・県木園などを見たり、春の草花を見たりと自然に触れる良い機会にもなっています。そして楽しみの一つでもあるお母様に作っていただいたお弁当を「残さず食べるんだ」、「おにぎりとおかずがあるよ」と皆でおいしくいただき、昼食後は広い園内で元気いっぱい走ったり、ゲームをしたりして各学年が自然の中で時間を過ごします。



おいに体を動かして遊ぶことを楽しみ、先生や友達とのコミュニケーションを深めています。いつもと違った場所、自然の中で、のびのびと過ごすことができる遠足は楽しい行事の一つです。

### 親子親睦会

多摩中央幼稚園



入園・進級式後の騒がしかった幼稚園も少しずつ落ち着きを見せ始め、初めての集団生活にもやっと慣れ、年少児も幼稚園の楽しさを感じられるようになってきた。四月の後半に、親子親睦会を行います。

この会は、各クラスごとに、親子で自己紹介ゲームをして名前や好きな食べ物を言ったり、ゲームをして親子の親睦やクラス全体の親睦を深めています。また、幼稚園生活が初めての保護者の方は、ゲームに参加することで少しずつクラスの和に入り、いろいろな方との交流を深められてこれからの一年間をなごやかに過ごせるとも良い機会になっています。毎年、年長組になると親子同士積極的に関わりを持つ姿があり、より一層親睦を深めることができています。進級児の園児たちも、新しい友達づくりに、自分たちで進んで発言をしたりする積極性もみせ、一年間の始めの行事としてこれらの幼稚園生活に大きな効果をあげることができている親睦会です。

### 美味しく楽しい 給食作りを!!

三田幼稚園

幼児期は乳児期に次いで発育の盛んな時期といわれています。特に偏食や小食、拒食といった問題を起こしやすい時期でもあります。四月の給食開始当初は、給食の残菜も多かったのが、幼稚園生活や給食にも徐々に慣れ、皆と一緒に食べる楽しさや、おかわりする嬉しさを知り、完食できる園児が増えました。

いつも、食べられずにいる園児が「今日は全部食べたよ」と、ちよつと照れくさそうに報告に来てくれると本当に嬉しく思います。給食を少しでも身近に感じてもらう為に保護者の方

におすすりメニューを聞いて、

そのメニューを他の保護者の方に紹介したり、給食に採り入れたりしています。教員からもメニューの提案があると、その先生の名前をつけて給食に出したところ大好評で、園児もクラス担任の名前のメニューが出たので、「家でも作ってもらうので作り方を教えて」、「また作ってね」などの声も聞かれ大喜びしている様子でした。

また、幼稚園の園庭で栽培している野菜を園児たちが収穫し、給食に入れています。自分たちで収穫した物が給食に入っていると、美味しさも倍増するようです。



これからも、美味しく楽しい給食の時間となるように、そして、保護者の方にも満足していただけるような給食作りを心掛けていきたいと思えます。

平成21年度 シリーズコンサート予定表 (H21.3.25現在)

Table with columns: 月/日, 時間, 演目. Lists concert dates from April to December, including events like '聖徳学園「入門コンサート」' and '第26回 聖徳学園「吹奏楽の夕べ」'.

※コンサート演目など変更することがあります。

平成21年度 春期公開講座のお申込みを受付中!

～“出会い”をテーマに年間約430講座を開講～
聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)では、現在、春期(第I期4～7月)講座の申込み受付を行っております。

Table with columns: 開講種類, 講座名, 春期開講予定講座(抜粋), 講師名. Lists various lecture topics and speakers.

平成21年度 SOAオープニングセレモニー開催

Event details for SOA Opening Ceremony including date (April 18), time (13:00-16:00), location (Seitoku University 10th building), and speaker information for Nakagawa Shiro.

平成21年度 保護者会・後援会 開催日程 (H21.3.25現在)

Table with columns: 大学・短期大学部, 専門学校, 附属4園, 三田3園. Lists meeting dates for various university departments and affiliated facilities.

同窓会年間行事予定表のご案内

Table listing alumni association events such as '聖徳学園菊水会', '香和会', 'ひじり会', '爽和会', '聖朋会', '秋和会', 'かをり会', '菊水会', 'すなお会', '知水会', 'なごみ会', 'わかば会', '和香竹会'.

Advertisement for 'かすが荘' (Kasuga Ryu) featuring a hot spring, accommodation services, and a '1ドリンクサービス券' (1 Drink Service Voucher).

Advertisement for '東京聖徳学園' (Tokyo Seitoku Gakuen) including contact information and a '読者の欄' (Readers' Corner) section.

Advertisement for '読者の欄' (Readers' Corner) with a URL and contact information for submitting comments.